



門脇 輝明 議員

非正規職員の制度変更は

町長

9月議会で条例改正を予定

〔門脇〕平成32年4月から非正規職員が会計年度任用職員となるが移行の準備は。

〔町長〕西部町村で情報交換を重ね制度設計を検討している。

関係条例の改正は9月議会に上程する予定。

〔門脇〕改正による財政負担の増加予想額と財源は。

〔町長〕6,400万円の負担増と試算している。

財源は一般財源での対応となり、行財政改革の推進により財源を確保する。

〔門脇〕一番心配なのは町民サービスへの影響だ。

特に、非正規職員が大きな力となっている保育の現場などでの影響は。

〔教育長〕現状の保育を維持していくよう対応する。



バーガーフェスタに代わるにぎわいは

バーガーフェスタの 今後は

町長

平成30年度で
終了する

〔門脇〕観光振興とは。

〔町長〕観光関連産業が生産額を上げることだ。

〔門脇〕大山開山1300年祭の成果と課題は。

〔町長〕経済効果が約13億円、大山の入り込み客数が前年比で約

1.15倍となっている。

課題は町内の観光消費が限定的なこと。

〔門脇〕バーガーフェスタの今後は。

〔町長〕自治体からの支援の減少などにより、実行委員長が10年を節目に終了を決断した。

通学路の安全は

教育長

定期的に確認している



見守りがむずかしい通学路

〔門脇〕通学路情報の保護者との共有は。

〔教育長〕保護者の要望により決定した通学路と集合場所を毎年確認し、情報共有に努めている。

〔門脇〕通学路の安全点検と事後の対応は。

〔教育長〕教職員は登下校指導や家庭訪問時に、PTAは独自に安全点検をし、関係機関と連携して対応している。

〔門脇〕防犯カメラなどへの補助は。

〔町長〕安価になってきているので、補助は考えていない。